

公平無私、公明誠



社会福祉法人育成会

概要



厚労省子育てサポート
くるみんマーク認定法人



いわき市女性活躍推進企業
認証法人

いくせいかいドットコム

<https://www.ikuseikai.com>



YouTube 公式チャンネル



私たちは **IWAKI FC** を応援しています。

1、社会福祉法人とは

社会福祉法人とは、社会福祉法（第22条～第59条）に基づいて、国・地方公共団体と並んで「第一種社会福祉事業」（同法第60条）を行うことの出来る唯一の認可法人です。

従って、国・地方公共団体の指導・監督の基に施設等を設置して、地域における必要な福祉サービスを総合的に提供する責務があり、その役割は重要です。

2、社会福祉法人育成会の沿革と事業運営

沿革

- | | |
|----------|---|
| 1977年3月 | いわき市手をつなぐ親の会（知的障がい児・者の親の会、現いわき市手をつなぐ育成会）が中心となり法人を設立、認可を得る。 |
| 1977年4月 | 知的障がい者通所授産施設「いわき学園」をいわき市常磐に開所。
(利用定員50名) |
| 1979年4月 | 利用希望者の増加に伴い、いわき学園食堂棟を1979年3月に建設し、
利用定員を70名に変更。 |
| 1987年8月 | 知的障がい者入所更生施設「いわき育成園」をいわき市高倉町に開所。
(利用定員50名) |
| 1996年4月 | 知的障がい者通所更生施設「いわき光成園」をいわき市常磐に開所。
(利用定員30名) |
| 2003年4月 | 知的障がい者通所更生施設「いわき希望の園（更生）」と知的障がい者
通所授産施設「いわき希望の園（授産）」を一つの建物に設置する福島
県初の「合築型施設」をいわき市泉町に開所。
(利用定員 更生20名・授産20名) |
| 2009年4月 | 地域移行により、「いわき育成園」の利用定員を40名に変更。 |
| 2012年4月 | 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業体系に移行完了。
利用希望者の増加に伴い、「いわき光成園」の利用定員を40名に変更。 |
| 2015年4月 | バリアフリー住居2棟の完成で、2002年度より開始したグループホ
ーム6拠点全てが法人設立、法人所有物件となる。 |
| 2019年4月 | 就労継続支援B型と就労移行支援の多機能型事業所「みなみテラス」を
いわき市南台に開所。(利用定員 就労B14名・就労移行6名) |
| 2020年6月 | 次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート」を行う法人とし
て、国から「くるみんマーク」の認定を受ける。 |
| 2020年11月 | 障害者支援施設「いわき育成園」の増改築事業により、居室の個室化と
個浴、機械浴、オストメイト設備などの充実を図る。 |
| 2021年6月 | 女性が活躍できる法人の証として、いわき市の社会福祉法人としては2
法人目となる「いわき市女性活躍推進企業」の認証を受ける。 |
| 2024年4月 | 就労系事業所「みなみテラス」の増築事業により、作業棟の拡大を図り
就労継続支援B型の利用定員を20名に変更。 |

- 居宅支援関係
- ・いわき育成園短期入所事業・日中一時支援事業
 - ・共同生活援助（グループホーム）ライフサポートセンター「ゆう・ゆう」

育成会 本部

理事長 佐藤みさ江
住 所 いわき市常磐下船尾町東作51番地 いわき学園2階
T E L 0246-43-4466
F A X 0246-43-0056
E-mail goiken@ikuseikai.com

生活介護・就労継続支援B型 いわき学園

開設 1977年4月1日
住所 いわき市常磐下船尾町東作 51 番地
TEL 0246-43-4445
FAX 0246-44-4802
E-mail gakuen@ikuseikai.com
定員 生活介護 40名 就労B型 30名
支援内容



- ・就労継続支援B型では、パン・菓子等の食品製造、防虫剤の包装作業を中心とした各種受託（下請け）作業を行っています。
- ・生活介護では作業活動と音楽・運動・個別活動等をバランスよく組み入れることで活動の充実を図っています。

生活介護 いわき光成園

開設 1996年4月1日
住所 いわき市常磐下船尾町東作 53 番地
TEL 0246-43-0012
FAX 0246-43-0013
E-mail kouseien@ikuseikai.com
定員 40名
支援内容



- ・日中の生活支援（食事・排泄・着替え・歯磨き等）を行っています。
- ・活動では音楽活動・キャンドル・再生紙・下請け作業の他、公園や体育館を使用しての運動、さおり織りや絵画・貼り絵・紙粘土などアートへの取り組み、それぞれの趣味を応援する個別活動など様々なプログラムで活動の充実を図っています。
- ・気持ちを落ち着かせられる専用ルームでは「スノーブレン」を取り入れています。

生活介護 いわき希望の園（こすも） 就労継続支援B型 いわき希望の園（ゆにば）

開設 2003年4月1日
住所 いわき市泉町黒須野字早稲田 217-1
TEL 0246-75-0202
FAX 0246-56-0039
E-mail kibou@ikuseikai.com
定員 こすも 20名・ゆにば 20名
支援内容



- ・就労継続支援B型では作業（企業下請け・オリジナル石鹸、EM菌培養液製造・公園やお寺の委託清掃）中心の支援を行っています。
- ・生活介護では生活全般にわたっての支援（食事・排泄・着替え等）を中心としながら、体育館を使った運動やウォーキング、機能訓練や情緒安定のため、専門家による「乗馬療法」や「音楽療法」、「トータルフィットネス」を行っています。

就労継続支援B型 みなみテラス

開設
住所
TEL
FAX
E-mail
定員
支援内容

2019年4月1日
いわき市南台一丁目20番地10
0246-88-7689
0246-88-7698
minami@ikuseikai.com
20名



- ・地域との共生を目指し、近隣の方々が気軽に立ち寄れる憩いの場所をコンセプトに、各事業所の製品販売や革製品の製造、販売を行っています。
- ・広々としたウッドデッキのオープンテラスがシンボルです。

生活の場としての施設（入所型）

障害者支援施設（生活介護）いわき育成園

開設
住所
TEL
FAX
E-mail
定員
支援内容

1987年8月1日
いわき市高倉町鶴巻35番地
0246-62-2241
0246-62-2199
ikuseien@ikuseikai.com
40名



- ・生活全般に渡っての支援（食事・排泄・入浴等）を行いながら、創作活動、音楽活動、アニマルセラピー、シルバー体操などを行っています。
- ・ショートステイ、日中一時支援の受け入れをしています。

地域での独立した生活の場



グループホーム「ひまわり」定員5名
いわき市小名浜玉川町

グループホーム「みのり」定員5名
いわき市小名浜玉川町



グループホーム「さくら」定員5名
いわき市小名浜玉川町

グループホーム「えぼっく」定員6名
いわき市常磐上矢田町



グループホーム「えぼっくⅡ」定員4名
いわき市常磐上矢田町

グループホーム「えぼっくⅢ」定員5名
いわき市常磐上矢田町



ライフサポートセンター「ゆう・ゆう」

○共同生活援助（グループホーム）

住 所 いわき市常磐下船尾町東作 40-1 番地 いわき学園「やすらぎの家」内

T E L 0 2 4 6 - 4 3 - 4 4 7 8

F A X 0 2 4 6 - 4 4 - 2 2 8 9

E-mail youyou@ikuseikai.com

支援内容 ・各事業所、関係機関と連携を図りながら、グループホームで生活する利用者の方々が日常生活を円滑に営むことができるよう支援をしています。

3、地域福祉の実践

(1) 「地域福祉懇談会」

それぞれの施設で設け、定期的に地域の代表の方と懇談をしながら地域福祉の推進と親睦を図っています。

(2) 行事への地域参加

地域ふれあいまつり・高倉祭・わせだ希望まつりなどの行事に大勢の地域の皆さんが来場したり、ボランティアとして参加いただいたりすることで、地域の賑わい創造と福祉人材の育成にも貢献しています。



(3) 施設製品の販売

各種団体や地域主催のイベントに参加し、施設製品の販売を行っています。

- ・ 福島県授産事業振興会アンテナショップ
- ・ 介護フェア など



4、社会貢献の実践

1977年の法人設立以来現在に至るまで、知的障がい者施設5箇所（6施設）を設立運営し、短期入所の受入や、日中一時支援の受入、共同生活援助事業所（グループホーム）「ライフサポートセンターゆう・ゆう」など居宅者支援も展開し、いわき市在住の知的障がい者の約7%に当たる210名の方々の生活支援に努めています。

また、「いわき市障がい者福祉連絡協議会」（いわき市内の障がい者施設で構成する団体）の一員として毎年実施の障害者週間記念作品展出展など市内の障がい者福祉のリーダー的な役割を担い、本人活動の一つである環境整備などの奉仕活動や民生委員の方とともに「高齢者宅訪問」の活動を通して、公益的な取り組みを実践しています。

高齢者宅訪問

合同奉仕活動



5、本人活動の支援

本人大会で名刺交換



利用者自治会会議



利用者自治会合同役員会



公的選挙の投票支援



施設ごとの利用者自治会をもとに、法人全体で利用者自治会合同役員会を定期的で開催し、東北ブロック大会本人大会への参加や公共地域での美化活動、エコキャップ収集による社会貢献活動について話し合うなど、利用者の意思決定支援を実践しています。

また、公的選挙での投票権行使のための支援を行い人権擁護の取組につなげています。

私たちは、障がいを持つ方々の最良のパートナーとして
常にそのかたわらに在りたいと願っています。
生涯支援をめざして。



社会福祉法人育成会

2024年11月1日現在